

新シリーズ

“キラリ企業”の現場から 第1回

いつもお客様の最高のパートナーであり続けるために

～アルケア株式会社～

当会社では中小企業が時代に即した経営を行い、事業活動を活性化していくための一助として各種の助成金制度をご用意しています。

新コーナーの第一回目として、当社の新製品・新技術開発助成金を活用して製品を開発し、商品化に成功し、社会に貢献すると共に、順調に売り上げを伸ばしている「アルケア株式会社」をご紹介します。

同社は平成18年に工場所在地において、「千葉元気印企業大賞」のグランプリ（千葉県知事賞）を受賞した日本を代表する中小企業の一つと言えます。

健康を願う全ての人にベストケアを

同社は「健康で豊かな医療福祉社会の実現を基本テーマとし、ベストケア創造企業として社会に貢献する」ことを企業理念の一つとして掲げている。

これは創業以来「鬼手仏心」の言葉のもと経営を行ってきたことにも表れている。同社では鬼手は事業を安定して継続させる力を意味し、仏心は医療福祉の分野で社会に貢献することを意味する。そして経営に占める割合が鬼手は49%以下、仏心は51%以上であり、利益が社会貢献を超えないことが同社の経営の根幹として受け継がれている。

同社は東京衛材研究所として昭和30年に創業し、国産初の石膏ギプスの製造・販売を開始した。その後昭和40年に国立がんセンターの要請で、国産初の人工肛門用の排泄処理装具「ラパック」を開発し、現在の主力事業であるホームヘルスケア市場に参入した。

現在ではメディカルケア、ホームヘルスケア、スポーツケアの3分野で事業展開している。

製品別の分野としてはフラクチャー（骨折）ケア製品・バンデージ（看護関係）ケア製品、ジョイント（関節）ケア製品、ストーマ（便や尿の排泄口）ケア製品、ウーンド（創傷）ケア製品、C・G（血流管理）ケア製品を開発し、製造・販売している。

助成金を活用した製品開発

主力製品の一つにオストメイト（人工肛門・人工膀胱保有者）のためのオストミー装具（排泄処理装具）がある。

オストミー装具には二品型と単品型に分けられる。二品型はオストメイトの肌に貼る部分と排泄物を溜める袋の部分で着脱が可能であるものをいう。

二品型では肌に貼ったものと袋をはめ合わせるための部分に成形品（以下嵌合成形品）が使用される。オストメイトは高齢者が多く、力が弱く、手が不自由である場合もある。また外出時に不意にはずれてしまったり、排泄物が漏れてしまったりするとその事がトラウマとなり、二度と外出できなくなってしまうこともある。

そのため嵌合成形品は ①容易にはめることが出来る ②容易にはずすことが出来る ③不意にはずれない ④漏れない ことが大切である。



ユーケア2

そこで同社ではこの4要素を満たす嵌合成形品の研究開発を行うことにした。研究開発には多額の資金が必要となるため、平成12年度に当社の助成金制度を利用した。

研究開発の結果、上記4要素に加えて①破損しない ②数日着けていても皮膚がかぶれにくい ③低コストで製造が可能（安価でユーザーに提供可能となる）な嵌合成形品の開発に成功した。

ユーザーテストでは、従来品で29秒かかっていたものが8秒ではめられるという成果が得られた。

助成事業終了後約1年後の平成14年に「ユーケア2シリーズ」の商品名で販売を開始し、ユーザーから好評を得て現在でも順調に販売数を伸ばし続けている。

信頼のおける製品提供のための品質管理体制

同社では「安全は地球より重い」という経営者の思いが隅々までいきわたっている。

千葉工場を中心にISO13485（医療用具の品質マネジメントシステム）を取得し、この要求事項に基づいた高レベルの柔軟かつ俊敏な品質管理体制を構築している。その体制のもとで、コストを削減しつつ医療機器270品目、非医療機器1100品目にも及ぶ製品の品質を維持するため、製造は主に自動機を使用し、全品を対象にした検査にマンパワーを振り向け万全を期している。

また、原材料取り出し時間の大幅な短縮、顧客要望への迅速な対応を図るため大規模な自動倉庫が導入されている。これは荷崩れなどによる事故防止にも配慮しており「従業員の安全」に対する経営者の思いも働いての導入となったという。

全社一丸となった継続的な改善運動

同社では全社員参加の改善提案運動にも力を入れ、昨年度はパート社員も含めて全社員平均10件以上もの改善提案があったとのこと。「千葉元気印企業大賞」のグランプリを受賞した時の表彰には、社で最も多くの改善提案を行ったパート社員が社を代表し経営者とともに表彰式に出席したとのことである。これは役員も正社員もパート社員も区別なく、全社一丸となって改善運動に取り組むという経営者の考えが大きく反映された典型例と言える。



千葉工場

技術の継承

ものづくり企業において、技術の継承は欠かせない経営上の重要な要素である。同社では技術継承・向上のため、時間外に自由参加の「ものづくり創造道場」を開催し、ベテラン技術者から若手技術者への技術の継承が行われ、また社内外の資格取得を昇給に反映させるなど従業員の「やる気」を鼓舞する仕組みを採用している。トップと若手社員の交流も頻繁に行われ、言葉だけでない「人を大切に作る企業」を実現し、結果としてユーザーの要望にあった高品質の製品を提供し続ける体制を作り上げている。

同社のオストミー装具ユーザーは約8万人にも及ぶが、ユーザーによって要望は多種多様に分かれる。製品の研究開発にゴールは無く、皮膚保護材の改良、袋の改良、嵌合成形品の改良は今も終わることなく行われ続けている。

高齢化がますます進行する社会において、同社の役割はますます大きくなるであろう。

(助成課 長岡宏昭)

.....

企業名：アルケア株式会社 代表取締役：鈴木 訓夫 資本金：9,000万円
本社所在地：墨田区錦糸1-2-1 アルカセントラル19階
TEL：03-5611-7800（代表） FAX：03-5611-7825
千葉工場所在地：千葉市花見川区千種町36-2
URL：<http://www.alcare.co.jp>